

Tokuyama College		Year	2022		Course Title	Comprehensive English I W	
Course Information							
Course Code		0035		Course Category		General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 2	
Department		Department of Civil Engineering and Architecture		Student Grade		2nd	
Term		Year-round		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		「FACTBOOK English Grammar Standard」 & 同Workbook					
Instructor		Nagato Yoshitaka					
Course Objectives							
1. 新出語句・表現を覚え、アクティブ語彙をできるだけ増やす。 2. 講義や演習を通じて、英文法の基本的ルールを正確に理解する。 3. 身につけた基礎的英語力を糧としてTOEIC TESTに十分対応できるよう準備する。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		新出語句・表現を覚え、スピーキングやライティングで適切に使用できる		新出語句・表現を覚え、スピーキングやライティングでかなり使用できる		新出語句・表現を十分に覚えることができず、スピーキングやライティングで適切に使うことができない	
評価項目2		講義や演習を通じ、英文法の基本的仕組みを十分かつ正確に理解し、適切に活用することができる		講義や演習を通じ、英文法の基本的仕組みを理解し、かなり活用できる		講義や文法演習を経ても、英文法の基本的しくみが十分理解できず、活用することができない	
Assigned Department Objectives							
到達目標 A 2							
Teaching Method							
Outline		テキスト「FACTBOOK English Grammar Standard」により、1年次に「基礎英語W」で時間的に履修していない文法項目を学習してひととおりの文法知識を身につける。語彙・熟語を補いつつ準拠するWorkbookにより演習を計る。					
Style		「総合英語FACTBOOK English Grammar Standard」を授業のテキストとし、1年時に履修できなかった文法項目の習得を目指す。家庭学習として各章左ページの解説を予習して授業に臨むと授業がわかりやすい。（もちろん右ページのExerciseを自分で解答して理解を深めることは推奨される。）授業では、Workbookのほか、適宜説明用、演習用のプリントも配布して知識の定着を図る。また、小テストの実施によって既習（復習）事項の定着を図ることもある。講義というよりむしろ演習として授業に臨んで欲しい。					
Notice		授業への参加姿勢(Participation)は小テストの結果と併せて最終成績に対して10%を占める。（より具体的に言うと、授業中の私語、居眠り、忘れ物、予習の不徹底、携帯電話の使用など注意を受ける行為に対しては減点もあり得る。）夏休みの課題は2回提出を求めるが、最終成績評価に15%の比率を占める。提出しないと著しい不利益を被るので全員必ず提出すること。 最終成績評価点（100点）＝定期試験4回分（400点×75/400）＋授業中の活動・発表・小テスト（10点満点）＋夏休み課題（15点満点）					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☒ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester r	1st Quarter	1st	イントロダクション 1年次学習事項の復習と演習		シラバス説明、授業の進め方の説明 文型・時制・完了形・受動態・不定詞・動名詞などの重要点の復習と整理		
		2nd	第17章 分詞（1）…pp. 50-51 第18章 分詞（2）…pp. 52-53		A 名詞を修飾する分詞 B SVC / SVOCの現在分詞・過去分詞 A 分詞による動詞句の修飾 B 分詞構文を使った慣用表現		
		3rd	分詞の説明と問題演習の続き 説明 Plus 分詞…pp. 54-55		A 分詞構文の応用 B 付帯状況のwith / 分詞構文を使った慣用表現		
		4th	第19章 比較（1）…pp. 58-59 第20章 比較（2）…pp. 60-61		A 原級 B 比較級 A 最上級 B 原級や比較級で最上級の意味を表す		
		5th	比較の説明と問題演習の続き Plus 比較…pp. 62-63		A as～asを使ったさまざまな表現 B 比較級を使ったさまざまな表現		
		6th	比較の総まとめ		原級・比較級・最上級とそれを使って表せる意味について理解する		
		7th	中間試験範囲のまとめと問題演習		分詞・比較について問題演習をしながら質問できる時間を設け、理解を深めて試験に備える		
		8th	中間試験		分詞・比較について十分学習していることを確かめる基礎的・基本的な問題が出題される		
	2nd Quarter	9th	中間試験レビュー		中間試験の答案返却と問題解説		

2nd Semester		10th	第21章 関係詞（１）…pp. 64-65	A who / which（主格） B whom / which（目的格） C whose A 前置詞+関係代名詞 B whom / which（目的格） C whoseと前置詞+関係代名詞 A that B 関係詞を用いない場合 C 関係副詞
		11th	第22章 関係詞（２）…pp. 66-67 第23章 関係詞（３）…pp. 68-69	A 前置詞+関係代名詞 B that C 関係詞を用いない場合 A 関係副詞
		12th	続き第23章 関係詞（３）…pp. 68-69 関係詞のまとめと演習 夏休みの課題の指示	B 非制限用法 問題演習・質問の時間・補足説明など 課題内容・提出形態・締切の説明
		13th	第24章 パッケージ表現としての節(1) …pp. 70-71	A whatの用法 B wh節+ever
		14th	第25章 パッケージ表現としての節(2) …pp. 72-73 第24章、第25章のまとめと演習	A 譲歩の「wh語+ever」 B if / whether節 問題演習と質問への回答の時間
		15th	期末試験	関係詞の用法について十分学習していることを確かめる基礎的・基本的な問題が出題される
		16th	期末試験のレビュー（問題解説）	答案返却と問題解説
	3rd Quarter	1st	夏休みの課題の最終締切（回収終了） Output Training 3 分詞・比較・関係詞 …pp. 74-75	これ以降の提出は減点対象となりうる。 分詞・比較・関係詞関連の口頭演習
		2nd	第26章 仮定法（１）…pp. 76-77	説明：仮定法の基本的な考え方 A 仮定法過去形 B 仮定法過去完了形 C wish
		3rd	第27章 仮定法（２）…pp. 78-79	A ifを伴わない仮定法 B 仮定法を用いたの重要表現 C were to / should
		4th	仮定法のまとめ	問題演習と補足説明
		5th	Option① 否定	A 語句を否定する B 部分否定 C 否定を表す重要表現 D 否定疑問文／付加疑問文
		6th	Option② さまざまな表現	A 無生物主語 B 強調 C 倒置／同格
		7th	期末試験範囲のまとめと問題演習	中間試験範囲の価値法、否定、疑問文、 無生物主語、強調、倒置、同格の重要点のまとめと問題演習
		8th	中間試験	中間試験範囲の学習内容について十分学習しているかどうかを確かめる基礎的・基本的な問題が出題される
	4th Quarter	9th	中間試験レビュー	答案返却と問題解説
		10th	Option③ 話法	A 時制の一致 B 間接話法の注意点 (人・場所・時間・伝達動詞)
		11th	Option④ 限定詞	A 主な限定詞 B this / that
		12th	Option⑤ 代名詞	A 人称代名詞 B it / one
		13th	Option⑥ 前置詞	A at / in / on B その他の基本的な前置詞 (about / by / for / from / of / with)
		14th	Option⑦ 接続詞	A 等位接続詞(and / so / but / or) B 縦続接続詞(if・whether /理由・原因 / 譲歩 / 時)
		15th	期末試験	期末試験範囲の学習内容について十分学習していることを確かめる基礎的・基本的な問題が出題される
		16th	答案返却と授業のまとめ	期末試験のレビュー（問題解説） 授業のまとめ

Evaluation Method and Weight (%)

	試験（前期期末・後期中間・後期末）+前期課題10回	夏休み課題	授業中の発表・活動評価（小テストなどを含む）	Total
Subtotal	75	15	10	100
基礎的能力	75	15	10	100
専門的能力	0	0	0	0